2026年度（R8年度）
地圏環境科学科
3年生　ガイダンス

日時：4月7日（火）13:30～15:30

会場：地学棟201

学科長・専攻長：武藤、学科委員：堀

教務担当：鈴木紀毅（地質）、堀（地理）

忘れる前に．．．

【ガイダンス資料入手先】
http://www.es.tohoku.ac.jp/JP/private/academic_affairs/#guidance
（学内のみアクセス可）

当日配布しません。ガイダンス当日までに、自分の学年の項目の資料を確認しておいてください（地惑分野・地質分野の項目も入っていますので、間違えないようにしてください）

忘れる前に．．．

3年生

令和8年度自修会委員の選出

3年生：地圏より選出（毎年度新規に選出）

4年生：●●●（3年生の委員が継続する）

大学院修士：●●●（奇数年度地質地理交互選出：R8は地理より選出）

大学院博士：●●●（奇数年度地質地理交互選出：R8は地質より選出）

教員：●●●（偶数年度地質地理交互選出：R8は地質より選出）

要回答・提出：１

3年生

①「連絡先入力フォーム」を忘れずに回答すること

HP:東北大学理学地球科学系・

理学研究科地学専攻 トップ　＞

内部向け情報　＞教務情報　＞ガイダンス

「ガイダンス」から3年生の項目へ

→「入力フォーム」

※大学のIDでGoogleにログインしておくこと

※「地学連先情報入力フォーム」が開きます。

東北大学理学地球科学系・理学研究科地学専攻
http://www.es.tohoku.ac.jp

要回答・提出：２

3年生

②進路希望調査・卒論テーマ調査

Google Formに記入し、締切日までに提出。
　締切：4月13日（月）17時まで

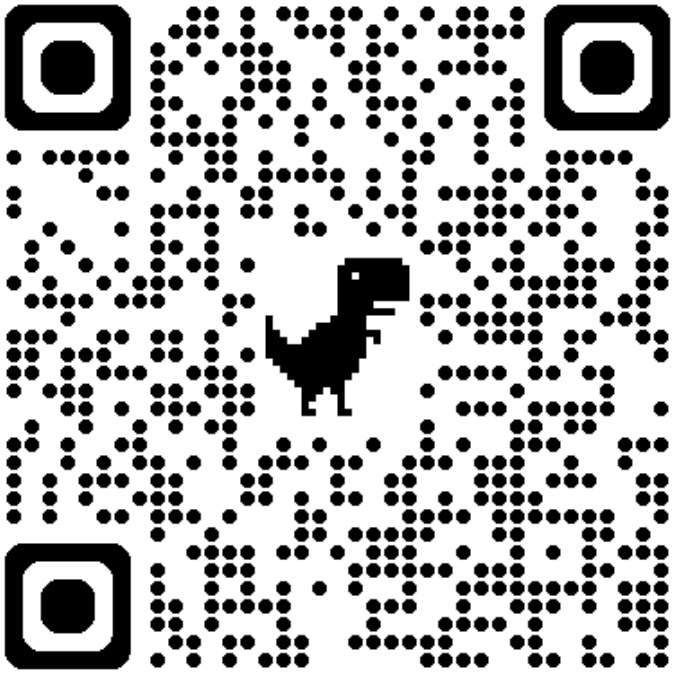
速やかに
入力しましょう。

https://forms.gle/dHgr55C714Zdk7uZ8

要回答・提出：３

3年生

③ **学習状況・進路希望アンケート**の提出
Google Formに記入し、締切日までに提出。
締切：4月13日（月）17時まで



https://forms.gle/N2syfjDCtQ68LWoFA

（注）一つ前の②と似たアンケートですが、調査元が異なるために、データ共有ができません。

要回答・提出：４

通年通しての提出書類

3年生

学外研究活動計画書の提出（義務）

【提出対象】野外調査、学外機関での分析など研究活動に
係る出張、学会参加、その他これらに類する活動
【注意】国内外、期間の長短、公費・私費に
関わりなく要提出

【提出方法】 】Google formから届け出
https://forms.gle/2fdS1oKUJvXZ5qL86

※クラス担任・指導教員にも事前に許可を得る。

※提出書類は、学部生・院生の所在把握はもとより、
学外で不慮の事故等が発生した場合、保険適用の重要な
証明書類となります。

要回答・提出：５

通年通しての提出書類

3年生

「インターンシップ願」の提出について

【参加許可要件】
申告制。学業（研究や授業）に支障がないことを指導教員や学科長と確認し、参加について承諾を得る必要がある。

【 提出先（メール）】
・地学教務窓口（tigaku-kyom@grp.tohoku.ac.jp）。
指導教員と木幡をccに加え提出。（教員の押印は不要）

【書類の入手先】
地学専攻ＨＰの内部限定からダウンロード

【備考】
・インターンシップよりも授業、実習を優先すべきであり、学業に支障が出ないよう注意。

【終了後】
・インターシップ報告書を提出する
（提出先は「インターシップ願」と同様）

事前届出は必須

教務関係：１

3年生

＊学生便覧を熟読すること
＊Web履修について
・「東北大ウェブ SRP」（Web検索で探す）＞
「東北大学ポータルサイト」＞「学務情報システム」
・登録期間があるので、忘れず登録する。修正期間後の登録は難しい。

＊キャンパスライフ支援室にて、履修相談ができる。
（合同A棟３階３０７号室　岩渕さん）
「東北大　理学部　キャンパスライフ支援室」で検索。

＊履修単位数を必ず確認すること。（124単位のうち必要要件を確認すること。特に教職科目と自由聴講科目はカウントされないので注意）

＊履修単位上限　28単位／セメ（4～8セメ）、ただし、実習・演習・集中講義・教職・自由聴講科目を除く。

3年生

教務関係：２

＊６～８セメの「課題研究」と「セミナー」の単位は４年生後期に単位が出ます（３年生後期時点では成績表は空欄）

＊所属学科の開講科目を優先受講する（「地図学」など）

＊以下は積み上げ式の科目です

（１）「科学英語演習」-> 「セミナー基礎」-> 「セミナー」

（２ａ）「基礎野外実習Ⅱ」->「野外実習Ⅰ」->「野外実習 Ⅱ」

（２ｂ）「基礎野外実習Ⅱ」->「野外実習 Ⅲ」・「野外実習 Ⅳ」

＊他学科関連科目申請（教務課窓口へ申請）

教務関係：３

3年生

＊3年生の分野配属（地質・地理）スケジュール
（地圏進化学コース－＞地質、環境地理学コース→地理）

・4月7（火），13日（月）：地圏教員の研究紹介
　7日ガイダンス後（この部屋）および
　13日「セミナー基礎（必修・14:40～）」の授業中

・6月1日（月）：地圏・グループ志望表の説明と配布
　「セミナー基礎」の授業中（201号室）

・6月12日（金）：地圏・グループ志望表の提出締切
　Google formへ回答（提出）

・6月22日（月）：地圏・グループ決定

・7月7日（火）：
　地圏進化学コース：教員による卒論課題検討会を経て課題を通知。
　環境地理学コース：卒論は学部３年終了時（６セメ後）に決める。

教務関係：４（資格取得について）

3年生

＊教員免許の取得には、教育実習が必要（計画的に履修を）
　中学校の教員免許には「介護実習」もある。

＊学科開講科目と時間割がかぶっている場合，自学科を先に受講

＊教職科目うち、生物の「分子生物学」や「生態学」は自由聴講科目なので、卒業認定単位にならない。

＊学芸員資格には免状といったものはない（学部で必要単位を取得し、学芸員資格認定試験を受験。単位取得状況により免除になる可能性あり、詳しくは便覧を確認すること）

＊測量士補の資格は、測量に関する科目40単位を修得後、国土地理院へ申請する。（詳しくは便覧を確認すること）

学生生活の注意事項： 1

3年生

＊大学のメール（@dc.tohoku.ac.jp）を一日数回はチェックすること（学務および日常の様々な情報が送られる）。

＊他に常用のアドレスがある場合は、転送設定を行い、確認を怠らないこと。該当する要件には返信すること。スパムメールは無視すること（知人を語って送ることもある）。

＊SNS、メール、ネットなどでのマナーと情報リテラシーを学ぶこと。

＊教務情報システムも自分から確認にいく。

学生生活の注意事項：２

3年生

＊3年前期の控室
地学棟513号室と201号室を使用可能（授業等で使用していない時）。ただし、教員部屋に近接するため、絶対に騒がないよう注意。清潔に使うこと。

＊地圏3年共通のメールボックス
専攻事務室斜め向かいに設置。教務関係、個人宛の郵便物等が配布。日々、確認してください。

＊地学専攻ＨＰ
各種書類がダウンロードでき、メーリングリストなどの情報が掲載されている。

学生生活の注意事項：３

3年生

＊　**休学・復学・退学**

学科長（武藤）・教務担当（堀[環境地理]・鈴木紀毅[地圏進化]）に相談し、学科長に申し出

＊　**２つの保険加入（ほかの保険に入っていても加入必要）**

- 学生教育研究災害傷害保険（学研災）
- 学生教育研究賠償責任保険（学研賠）

※授業･実習の参加ができません。

※過年度生は再度加入

※加入状況が分からない場合は、理学部教務窓口で確認

＊　**事故にあった際**

- 指導教員、教務課事務室（TEL：022-795-6645）に連絡
- 救急車搬送時に、「東北大生である」ことを伝えると、東北大学病院救急救命センターに優先的に搬送してもらえる。

学生生活の注意事項：４

3年生

＊悩みや健康に不安があったら（不調２週間以上が目安）
- キャンパスライフ支援室
- 学生相談所
- 健康管理センター（内科・外科・歯科・精神科）

＊過激派・宗教団体・闇バイトに注意
同好会に扮していることが多々ある。何かあれば相談。

＊違法薬物
輸入・使用・譲受・所持等の禁止。（懲戒退学、奨学金返還、懲役刑の厳しい処分。肉体精神に障害、突然死も。）

＊ハラスメント禁止
アルコール，匿名攻撃，つきまとい，いやがらせ，恫喝

一人で悩まず、相談してください。

経済支援

3年生

＊奨学金制度には、日本学生支援機構の奨学金の他，様々な奨学金の募集がある。
奨学金情報については、 学務情報システムから随時募集要項が送付される。

応募する場合は，教務課学生支援係に連絡する。
理学部・理学研究科ウェブサイト（在学生の方へ＞授業料・経済支援）に奨学金募集一覧がある。
応募には履修状況が良好であることが前提となる。

＊　TOEFL ITPを受験できる。

研究倫理

3年生

【受講対象】事務技術職員を除いた全構成員
【該当区分】
・レベル２：学部３・４年次学生（任意受講）
-> APRIN eラーニングプログラム (eAPRIN)
https://edu.aprin.or.jp/

２．研究倫理教材について
（１）eAPRIN（受講対象：全レベル）全てのレベルにおいて、受講が必須です。受講者は、一般財団法人公正研究推進協会（APRIN）が提供するｅラーニングプログラム（eAPRIN）https://edu.aprin.or.jp/を受講してください。

＊レベル２「学部導入教材（ICF）大学初年次向け研究倫理教育（理学研究科　）コース」

各コースの単元のテストで 80 点以上を獲得し、修了証発行を以って受講完了となります。

（問い合わせ先）理学研究科総務課研究支援係　：
sci-kenkyu@grp.tohoku.ac.jp

受講方法、期間等については、学務情報システムで周知されます！

最後に

3年生

＊**3件のGoogleフォーム**への回答を忘れずに

＊**定期健康診断のWeb予約（4月10日～5月7日）**

保健管理センターのHPを確認すること。

＊**自修会委員**を１名選出してください
（2026年度研究科協議会委員を兼ねる）。

＊紙版の時間割が必要な学生は、理学部教務係（学割発行機反対側窓口）に置いてあるので、各自受け取ってください。

＊**新３年生歓迎会**（担当：澤、高橋直)
日時：4月7日（月） １8時～
場所：青葉サイエンスホール
※先輩・先生との交流、分野配属、研究グループ選びの参考になるので全員参加すること！

大学院進学（地学専攻へ進学する場合）

3年生

大学院博士課程前期2年の課程一般選抜試験において、外国語科目（英語）の評価として、国際的な英語学力テストである TOEFL® Test、TOEIC®、IELTS™のいずれかのテストのスコアを利用することとしました。

本研究科地学専攻博士課程前期2年の課程の受験を考えている方は、下記の「理学研究科大学院入学試験（地学専攻・博士課程前期2年の課程）における TOEFL®Test、TOEIC®、IELTS™の利用について」に記載されている事項をよく読んで準備を進めてください。

リンク先
「理学研究科大学院入学試験（地学専攻・博士課程前期2年の課程）における TOEFL®Test、TOEIC®、IELTS™の利用について」
https://www.es.tohoku.ac.jp/JP/wp-content/uploads/2024/12/20241220_2.pdf

地圏環境科学科での大学生活が充実したものであるように！

東北大学理学地球科学系・
理学研究科地学専攻
http://www.es.tohoku.ac.jp

ガイダンスの資料・新学期の配布資料・回答フォーム等は
すべて地学専攻HPに掲載されています。
必ず、HPをチェックして、新年度をスタートさせましょう。

教務関係：補足（該当者のみ）

3年生

【必修科目への変更がありました：2023年度入学者の場合】
・基礎野外実習Ⅰ、科学英語演習（４セメ）
・基礎野外実習II・地圏環境科学実習II（５セメ）

【卒業要件に変更がありました： 2023年度入学の場合】
「専門教育科目」
必修授業科目 22単位 （旧） －＞ 32単位（新）
選択必修授業科目 6単位以上 （旧） －＞ 2単位以上（新）
選択授業科目 40単位以上 （旧） －＞ 34単位以上（新）

p. 42の備考欄
（旧）「基礎野外実習及び野外実習６科目から３科目以上を選択すること」
（新）「地圏進化学コースの学生は野外実習I（選必）とII（選必）の２科目から１科目以上、環境地理学コースの学生は野外実習III（選必）とIV（選必）の２科目から１科目以上を選択すること。なお、地圏進化学コースの学生は野外実習IとIIの両方を受講することが望ましい。」

教務関係：補足（該当者のみ）

2023年度入学生

さらに８単位必要

116単位

48単位

68単位

区　　分	修得を要する授業科目，単位数等
全学教育科目	以下の基盤科目・先進科目・言語科目及び学術基礎科目に記載されている要件（計46単位）を含め48単位　14+10+22+2=48
基盤科目 先進科目 10+4単位	人文科学群から２単位以上 社会科学群から２単位以上　10+2+2=14 学問論群，学際科目群，先進科目類から，次の科目を含めて10単位以上 学問論　２単位 自然科学総合実験　２単位 情報とデータの基礎　２単位　2+2+2+4=10
言語科目 10単位	英語Ⅰ－A，Ⅰ－B，Ⅱ－A，Ⅱ－B，Ⅲ，Ⅲ（e-learning）の６単位 初修語の基礎Ⅰ，基礎Ⅱ**から４単位
学術基礎科目 12+10単位	次の要件を含めて　22単位以上 基礎数学群から２単位以上 基礎物理学群から２単位以上　2×4+4+10=22 基礎化学群から２単位以上 基礎生物学群から２単位以上 基礎宇宙地球科学群から地球システム科学，地球物質科学の４単位
専門教育科目 68単位	必修授業科目　22単位 → 32 選択必修授業科目から６単位以上→ 2 選択授業科目から40単位以上 → 34 なお，選択授業科目の単位には，[illegible]の単位を含めることができる。

* 表の要件の合計は116単位となる。残り８単位は全学教育科目，専門教育科目のいずれでもよい。